

# 2017年度

## アドミッションズ・オフィス(AO) 入学試験要項

**現代ビジネス学部**

現代ビジネス学科

**教育学部**

教育学科

幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻

**生活科学部**

生活文化デザイン学科

**学芸学部**

日本文学科 英文学科 人間文化学科 心理行動科学科 音楽科



# 宮城学院女子大学

# Contents

---

募集定員 .....	01
アドミッションポリシー .....	02
一次選考について .....	04
二次選考について .....	06
提出課題の内容および学科別の要件等 .....	08
音楽科専門試験要項 .....	10
学科別ポイント .....	12

---

## 東日本大震災により被災された受験生に対する入学検定料免除措置について

### 【対 象】

2011年3月に発生した東日本大震災において被災した2017年度入試受験生で、以下のいずれかに該当する方

- (A) 主たる家計維持者が死亡した場合(行方不明も含む)
- (B) 申請時の住居が仮設住宅(みなし仮設住宅を含む)の場合
- (C) 申請時に主たる家計維持者が所有する自宅家屋が、福島原発事故に伴う避難指示または避難勧告により、引き続き当該家屋に居住することができず長期(3か月以上)にわたって避難している場合

### 【申請方法】

申請書を本学ホームページからダウンロードして必要事項を記入し、証明書を添付して、出願書類に同封して郵送してください。その際、入学検定料の振り込みは必要ありません。

### 【申請書類】

- 申請書(本学ホームページからダウンロード。ダウンロードできない場合は郵送しますので本学入試センターまでご連絡ください)
  - 証明書
    - (A) に該当する方: 死亡診断書またはそれに代わる証明書類
    - (B) に該当する方: 仮設住宅もしくはみなし仮設住宅に居住していることがわかる証明書類
    - (C) に該当する方: 当該区域から避難もしくは転居したことがわかる証明書類
- ※ 証明書類は、市町村など公的機関が発行したものに限り。なお、申請書類として提出の際はコピーでも可。

### 【申請期間】

出願期間に、出願書類に同封して郵送してください。

なお、出願締切日を過ぎて申請されたものについては、受理しかねますのでご注意ください。

### 【結果通知】

- 申請内容が認められたものについては、受験票発送後に改めて特別措置決定通知を送付します。
- 申請内容が認められないものについては別途ご連絡しますので、直ちに入学検定料を振り込んでください。入金を確認でき次第、受験票を発送いたします。

### 【そ の 他】

- 一度検定料免除が認められた場合、2017年度入試の全日程に適用しますので、決定通知は大切に保管してください。決定後、新たに別日程の入試に出願する場合は、決定通知のコピーを同封してください。

# 募集定員

## 現代ビジネス学部

現代ビジネス学科(7名)

## 教育学部

教育学科 幼児教育専攻(7名)、児童教育専攻(5名)、健康教育専攻(5名)

## 生活科学部

生活文化デザイン学科(5名)

## 学芸学部

日本文学科(7名)、英文学科(5名)、人間文化学科(5名)、心理行動科学科(5名)、音楽科(4名)<sup>※</sup>

※音楽科は器楽コース(ピアノ、オルガン、ヴァイオリン・ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン)、声楽コース、作曲コースがあります。

# 選考スケジュール

	出願期間	日程	備考
一次選考	出願期間	2016年8月18日(木)～8月24日(水)必着	志望理由書／調査書／提出課題 等 入学検定料(一次選考):無料
	実施期間	2016年8月31日(水)～9月2日(金)	受験者ごとに日時が異なります 試験場:本学
	結果通知	2016年9月3日(土)予定	本人宛に速達郵便で結果を発送
二次選考	出願期間	2016年9月5日(月)～9月9日(金)必着	一次選考を通過した方はこの期間に二次選考の出願手続きをしてください 入学検定料(二次選考):30,000円
	選考日	2016年9月15日(木)	試験場:本学
合格発表		2016年9月23日(金)13:30(予定)	発表日当日、高等学校長および本人宛に速達郵便で結果を発送
入学手続		2016年9月26日(月)～9月30日(金)	「入学時納付金(p13参照)」を銀行振込で一括納入

## 合格までの流れ

<b>出願</b>	<p>本学所定の「志望理由書」「提出課題(英文学科、音楽科を除く。ただし、作曲コースは楽譜を提出(p10参照))」「調査書」「資格取得を証明する書類のコピー(任意)」「音楽科専門試験曲目届出票(音楽科受験者のみ)」</p> <p>書類審査(審査の結果によっては一次選考の受験を認めない場合もある)</p>
<b>一次選考日時のお知らせ</b>	<p>通知書は8/26(金)発送予定</p>
<b>一次選考の実施</b>	<p>20～30分程度の面接(教育学科と心理行動科学科は、提出課題に関わるプレゼンテーション)※詳細はp5を参照</p>
<b>一次選考結果通知</b>	<p>選考結果を受験者全員に通知 (一次選考通過者へは二次選考出願書類を同封)</p>
<b>二次選考出願</b>	<p>入学検定料の振込</p>
<b>二次選考の実施</b>	<p>選考方法は学科によって異なる ※詳細はp7を参照</p> <p>一次選考と二次選考の結果を総合的に判断して決定</p>
<b>結果通知</b>	<p>最終結果を本人および高等学校長へ通知</p>

宮城学院女子大学では、本学で勉学することを強く希望する方を対象に、アドミッションズ・オフィス(AO)入試を実施します。この入試では、本学および各学科のアドミッション・ポリシーをよく理解し、学科が求める学生像に当てはまる方、自己表現力やコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力に秀でた方、高等学校でのクラブ活動やボランティア活動、その他の社会的活動に積極的に取り組み、学科での学びを活性化しうる方を求めます。本学のアドミッション・ポリシーと各学科が求める学生像を十分に理解した上で、出願してください。

## 宮城学院女子大学 アドミッション・ポリシー

本学は、キリスト教に基づく人格教育とリベラルアーツ教育を基盤とし、人類の福祉と世界の平和への貢献を目指す人材の養成を教育目的としています。その目的の実現のため、真理への探究心が強く、自分の夢に向かってチャレンジスピリットを持ち、地域社会や人類全体の福祉に貢献しようとする意欲ある人を求めています。

### 【本学がAO入試において求める学生像】

- 本学の教育方針をよく理解し、学習意欲を強く持っている方
- 地域社会や人類全体の福祉に貢献することに意欲のある方
- 何かに打ち込んだ経験、何かをやり遂げた経験を持ち、そのことをアピールできる方

## 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科

### ◆現代ビジネス学科アドミッション・ポリシー◆

現代ビジネス学部現代ビジネス学科は、現代ビジネスの「学」を体系的に学ぶ学部・学科として設立されました。現代ビジネスとは、株式会社などの営利企業だけでなく、NPOなどの非営利団体や行政組織等を含む、それら全体の活動を含意します。そうした広い視野に立脚し、ビジネス学の土台をふまえ、その上に、「観光」、「国際」、「地域」をキーワードとしたより実践的な教育体系を構想しています。本学部・学科では、3つのキーワードを理解し、内外の様々なビジネス・シーンで活躍する意欲的な学生を求めています。

### <AO入試で求める学生像>

- 「観光」「国際」「地域」の〈場〉で、地域の資源を活用した企画を考える意欲を持っている方
- 自分が考えた企画を他の人が理解できるように伝えられる方

## 教育学部 教育学科

### ◆幼児教育専攻アドミッション・ポリシー◆

教育学部教育学科幼児教育専攻は、教育学、心理学、福祉学の専門的な学びを踏まえ、地域や家庭の子どもと子育ての課題に向き合い、それらの問題解決に寄与できる人材を養成します。一人ひとりの子どもに丁寧に向き合い、子どものすこやかな成長・発達を支援する意欲や情熱をもった人を歓迎します。保育・教育・福祉の専門職は、日々の実践を適切な言葉で表現することが求められます。文章の読み解き、表現する力をつけておくことも大切です。また、人を支援する専門職であることから、様々な場面で人と関わることに積極的である人を歓迎します。

### ◆児童教育専攻アドミッション・ポリシー◆

教育学部教育学科児童教育専攻は、子どもの成長・発達を深く理解し、幅広い教養と教科に関する高い専門性を兼ね備えた指導力のある教育のスペシャリストを養成します。子どもが主体的・協働的に学ぶ授業を展開できる実践的指導力の育成を図ります。子どもの心身の発達に関心を持ち、子どもの人格形成に大きな影響を及ぼす教育という営みを探求することに強い関心を持っている人を歓迎します。

### ◆健康教育専攻アドミッション・ポリシー◆

教育学部教育学科健康教育専攻は、養護教諭や保健体育科教諭など、今日の子どもたちの抱える健康課題を熟知し、子どもや保護者、社会のニーズに応え、子どもたちの発達を適切に支援できる専門家の育成を目指します。そのためには確かな「専門性」と豊かな「人間性」が両輪として大切です。子どもたちの多様な健康課題に取り組み、その健やかな成長と発達に寄り添っていく意欲と情熱を持った皆さんを歓迎します。

### <教育学科のAO入試で求める学生像>

- 将来、学校教育や児童福祉の分野で地域に貢献することを目指している方
- 人にかかわることが好きで、子どもたちの心身の発達と成長に関心を持っている方
- 子どもに関する分野を専門的に学んでみたい方

## 生活科学部

### ◆生活文化デザイン学科アドミッション・ポリシー◆

生活科学部生活文化デザイン学科は、環境、文化、社会の視点から生活を総合的に捉え、次世代のライフスタイルをデザイン＝提案できる人材を育成します。基礎的な科目を中心に地歴公民、理科、数学など幅広い興味を持って勉学に励み、大学において、家族、衣食住などの生活、経済、環境、それらの歴史と文化、建築・インテリアなどのデザインを学び、社会で生かせる実践力を身につけたい人を歓迎します。

#### <AO入試で求める学生像>

- 教員、建築士、公務員、企業における生活に関わるデザイン、知識、情報、サービス等を提供する仕事を目指している方
- 生活について幅広い関心を持ち、特に女性、家族と社会、流通、服飾、建築、インテリアなどの分野のいずれかを深く学びたい方
- 生活を多面的にとらえ総合的に考える力、上記いずれかの分野の専門知識と、提案力＝デザイン力を身につけたい方

## 学芸学部

### ◆日本文学科アドミッション・ポリシー◆

学芸学部日本文学科では、読書が好き、文章を書くことが好きな人、高校での「国語」の授業などを通してことばに強い関心を抱き、日本語と日本文学および日本文化に関する専門的な知識を習得したいと考えている人、またそうした専門的知識を活かした職業(教員・図書館司書など)に就きたいと考えている人を求めています。

#### <AO入試で求める学生像>

- 国語科の教員、日本語教師、図書館司書、編集者などになりたいと考えている方
- 日本語、日本文学、日本文化、日本人の思想、価値観、美意識などに強い関心がある方
- 読み、書き、話し、聞くことに関して適切、的確な言語運用能力を身につけたい方

### ◆英文学科アドミッション・ポリシー◆

学芸学部英文学科では、英語に対する強い関心と興味を持ち、英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲のある人、英語運用能力を高めたいと考えている人を求めています。また、英語学や英米文学・文化を専門的に学ぶことにより、多様化する社会において必要とされる客観的かつ複眼的な視点を身につけ、自分の考えを英語で発信しながら自分と異なる価値観を持つ人と積極的に交流し、日本と外国との架け橋になることを目指している人を歓迎します。

#### <AO入試で求める学生像>

- 英語圏の言語・文学・文化に対し強い探究心を持っている方
- 高度な英語運用能力を身につけ、幅広い視野をもって、社会でリーダーシップを発揮したいと考えている方
- 様々な分野で、日本と海外をつなぐ職業に就きたいと考えている方

### ◆人間文化学科アドミッション・ポリシー◆

学芸学部人間文化学科では、教員や学芸員になりたい、国際舞台で活躍したいという意欲を持っている方、日本やアジア、ヨーロッパの歴史、文化、社会に強い関心を持っている方、そして問題を発見して解決する力、情報を発信する力、コミュニケーション能力を身につけたいと考えている方を求めています。

#### <AO入試で求める学生像>

- 教員や学芸員になりたい、国際舞台で活躍したいという意欲を持っている方
- 日本やアジア、ヨーロッパなど世界の歴史・文化・社会に強い探究心を持っている方
- 問題を発見して解決する能力、情報を発信する能力、コミュニケーション能力を身につけたいと考えている方

### ◆心理行動科学科アドミッション・ポリシー◆

学芸学部心理行動科学科では、実証と実践に重点を置いて心理学を学ぶことで、心理学の専門家になるだけでなく、客観的に考える力、的確に表現する力の獲得を目指します。人間の心や行動に関心を持ち、自ら積極的に知識や経験を積み上げる意欲ある人を求めます。心理学は文科系、理科系どちらの要素もあわせもつ学問ですから、高校で履修したあらゆる科目を活かすことができます。

#### <AO入試で求める学生像>

- スポーツ、音楽または経済・経営活動に打ち込んだ経験あるいは一定の実績を持つ方
- 人間の心理や行動について、自分の経験を通じた興味や疑問をもつ方
- 実践を重視した学修成果は様々な企業で役に立ちます。また、大学院進学や心理学の専門職に就きたいと考えている方

### ◆音楽科アドミッション・ポリシー◆

学芸学部音楽科では、音楽の専門的な勉強は、毎日の練習に取り組む意欲、自分の頭で考え抜く根気なしには成り立たないと考えます。また、器楽・声楽・作曲のどのコースにおいても、基本的な楽典の理解やソルフェージュ力が必要となります。高校の「音楽」の教科書を活用して、準備をすすめておきましょう。好きな音楽ととことん向き合ってみてほしい方を歓迎します。

#### <AO入試で求める学生像>

- 演奏家になろうという強い意欲を持っている方
- 中学校・高等学校の音楽の教員になろうという強い意欲を持っている方
- 音楽教室の指導者など、音楽についての技術・知識を活かせる仕事に就きたいと考えている方

# 2017年度アドミッションズ・オフィス(AO) 入試一次選考について

## 出願資格

次のいずれかに該当する女子で、合格の際には本学(志望学科)への入学が確実な方とします。

- ①高等学校を卒業した方および2017年3月卒業見込みの方。
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した方および2017年3月修了見込みの方。
- ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方および2017年3月31日までにこれに該当する見込みの方。

※心理行動科学科へ出願する場合は、p9にある当該学科が求める要件に当てはまることを確認してください。

## 選抜について

### 1) 一次選考

- (1)一次選考出願期間:2016年8月18日(木)～8月24日(水)必着
- (2)入学検定料:無料
- (3)出願書類

書類	注意事項
①志願理由書	本学ホームページから所定の様式をダウンロードし、A4判で印刷して、必ず本人が自筆(黒のボールペン)で記入してください。なお、音楽科に出願する方は、「音楽科専門試験曲目届出票」(本学所定の用紙)を提出してください。
②写真 (縦4cm×横3cm 1枚)	白黒・カラーとも可。出願日前3ヶ月以内に撮影し、正面を向いて上半身無帽のもの。写真裏面に高校名と氏名を記入し、志願理由書に貼付してください。選考の際に眼鏡をかける方は、眼鏡をかけて撮影してください。
③調査書または出願資格を証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高等学校卒業者(見込み者)および高等専門学校第3学年修了者(見込み者)の場合は「調査書」。(出願日前3ヶ月以内に作成され、交付元で厳封したもの)</li> <li>●大学入学資格検定合格者の場合は、「合格成績証明書」。</li> </ul> なお、免除科目がある場合は、「成績証明書」または「調査書」(単位を修得した高等学校で発行されたもの)を添付してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●高等学校卒業程度認定試験合格者の場合は、「合格成績証明書」、合格見込み者の場合は成績が記載された「合格見込み証明書」。なお、免除科目がある場合は、「成績証明書」または「調査書」(単位を修得した高等学校で発行されたもの)を添付してください。</li> <li>●外国において12年の課程を修了した方については「修了証明書」と「成績証明書」。</li> </ul>
④提出課題 (英文学科、音楽科器楽コースおよび声乐コースを除く)	課題の内容はp8～9を参照してください。課題提出用所定様式は、本学ホームページ( <a href="http://www.mgu.ac.jp/main/entrance/ao/">http://www.mgu.ac.jp/main/entrance/ao/</a> )からダウンロード(PDF)し、A4判で印刷してください。(音楽科作曲コースはp10を参照)ダウンロードできない場合は、本学入試センターまでご連絡ください。
⑤資格取得を証明する書類のコピー	英語検定、TOEIC、TOEFL、GTECスコア、漢字検定、日本語文章能力検定、簿記検定など、資格等を取得している場合は、その資格を証明できるもの(コピー)を提出することができます。

提出物は、市販の角2サイズの封筒に入れ、封筒の表に「AO入試一次選考出願書類在中」と必ず朱書きし、簡易書留で提出してください。事情により調査書等が提出できない場合は、本学入試センターまでご連絡ください。

(4)一次選考日:2016年8月31日(水)～9月2日(金)

受験者ごとに選考日時が異なります。詳しい日時については、一次選考日通知書にて8月29日(月)までに郵送で通知します。8月29日(月)までに通知等が届かない場合は、本学入試センターまでお問い合わせください。

なお、一次選考のために高等学校での授業を欠席しなければならない場合は、その旨を学校に連絡し、許可を受けてから受験してください。

(5)選考方法

学科	一次選考	
	選考方法	備考
現代ビジネス学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書類選考</li> <li>●課題提出(注1)</li> <li>●面接</li> </ul>	選考は一人20～30分程度
教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書類選考</li> <li>●課題提出(注1)</li> <li>●提出課題についてのプレゼンテーション(注2)</li> </ul>	
生活文化デザイン学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書類選考</li> <li>●課題提出(注1)</li> <li>●面接(注3)</li> </ul>	
日本文学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書類選考</li> <li>●課題提出(注1)</li> <li>●面接(注3)</li> </ul>	
英文学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書類選考</li> <li>●面接(英語および日本語による面接)(注4)</li> </ul>	
人間文化学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書類選考</li> <li>●課題提出(注1)</li> <li>●面接</li> </ul>	
心理行動科学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書類選考</li> <li>●課題提出(注1)</li> <li>●提出課題についてのプレゼンテーション(注2)</li> </ul>	
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書類選考</li> <li>●音楽科専門試験(p10参照)</li> <li>●面接</li> </ul>	

(注1) 提出する課題等についてはp8～9を参照してください。

(注2) 教育学科の各専攻と心理行動科学科の面接は、提出課題(自己推薦書)に基づくプレゼンテーションと質疑応答となります。A3判1枚の「プレゼンテーション用資料」を作成し、原本と原本の写し3部の計4部を必ず持参してください。選考の際は、原本をボードに掲示してそれを参照しながらプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションの時間は10分間とします(10分を経過した場合は途中であっても打ち切ります)。続いて、主としてプレゼンテーションの内容に関する質疑応答を10分程度行います。

(注3) 生活文化デザイン学科および日本文学科の面接は、提出した課題に関する質疑応答を含むため、説明用の資料や作品等の持ち込みを認めます。

(注4) 英文学科の面接は英文の音読を含みます。

一次選考は、志願理由書および提出された課題(英文学科を除く)、面接またはプレゼンテーション(音楽科は音楽科専門試験)を総合的に評価し、調査書は参考程度に扱います。

(6)一次選考結果通知:2016年9月3日(土)(発送予定)

一次選考の結果は受験者全員に通知します。

なお、一次選考に合格した方には、二次選考出願に必要な書類を同封します。

# 2017年度アドミッションズ・オフィス(AO) 入試二次選考について

(1) 二次選考出願期間:2016年9月5日(月)～9月9日(金) 必着

(2) 入学検定料:30,000円(銀行振込取扱期間:2016年9月5日(月)～9月9日(金))

本学所定の振込用紙を用い、上記の期間内に銀行窓口で振り込んでください。ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。必ず「取扱銀行収納印」が押印されていることを確認してください。

また、全国の「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」「サークルK」「サンクス」からも納入可能です。詳しくは、一次選考通過者にお送りする「二次選考出願書類」で確認してください。

いったん納入された検定料および提出された書類は、事由のいかんに関わらず返還いたしません。

(3) 出願書類

書類	注意事項
① 入学志願票	本学所定の用紙を用い、銀行またはコンビニエンスストアで入学検定料を振り込み「取扱銀行収納印」を受けたもの、または「収納証明書」を貼付したもの。必ず本人自筆(黒のボールペン)で記入してください。
② 写真 (縦4cm×横3cm 1枚)	一次選考出願時に志願理由書に貼付した写真と同じ条件で撮ったものを入学志願票に貼付してください。
③ 連絡カード	本学所定のものに住所・氏名を明記してください。

出願書類を修正する場合、修正液等は使用せず、二重線を用いて訂正し、訂正印を押してください。

(4) 二次選考受験票について

願書受付後、受験票を発送します。9月13日(火)までに届かない場合は、必ず本学入試センターまでお問い合わせください。

(5) 選考日:2016年9月15日(木)

時間の詳細については受験票に同封する「受験案内」で確認してください。

## (6)選考方法

学科	二次選考	
	選考方法	備考
現代ビジネス学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>一次選考時に提出した課題についてのプレゼンテーションと質疑応答および面接(注5)</li> </ul>	選考は一人20～30分程度 ※プレゼンの時間は10～15分程度です
教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻	<ul style="list-style-type: none"> <li>小論文(600字程度)</li> <li>面接</li> </ul>	小論文60分 面接20～30分程度
生活文化デザイン学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義を聴講し、所定形式のノートを提出(注6)</li> </ul>	全体で60分程度
日本文学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義(注7)を聴講後、論述試験</li> <li>面接(文学作品の音読等を含む)</li> </ul>	講義・試験 90分 面接20～30分程度
英文学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語および日本語による論述試験(注8)</li> <li>面接(英語および日本語)</li> </ul>	論述試験 60分 面接20～30分程度
人間文化学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>一次選考時に提出した課題についてのプレゼンテーションと質疑応答および面接(注5)</li> </ul>	選考は一人20～30分程度
心理行動科学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>一次選考の内容に基づいた新たな課題についての質疑応答(注9)</li> </ul>	20～30分程度
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽科専門試験(p11参照)</li> <li>面接</li> </ul>	

(注5)プレゼンテーションの方法は問いませんが、発表内容をA4用紙2枚程度にまとめたレジュメを4部持参してください。なお、パソコンを使用する場合は、持参してください。

(注6)生活文化デザイン学科の「ノート」の形式は、本学ホームページ上に掲載しています。

(注7)日本文学科の講義テーマは、一次選考日時の通知に同封してお知らせします。

(注8)英和辞典使用可。ただし、電子辞書等は使用不可。

(注9)心理行動科学科の課題は、一次選考結果通知書に同封してお知らせします。

**評価方法**

最終的な合否については、一次選考・二次選考の結果を総合的に判断して決定します。

**合格発表**

2016年9月23日(金)13:30(予定)

発表日当日、本人および高等学校長宛てに速達郵便で「選考結果通知書」を発送します。

合否については、電話・インターネットを利用した「合否照会システム」を利用して確認することもできます。

(利用方法は、受験票発送時に通知します)

**入学手続期間**

2016年9月26日(月)～9月30日(金)

上記の期間内に「入学時納付金(p13参照)」を銀行窓口で一括納入してください。ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。

入学手続の詳細については、「選考結果通知書」とともに送付する「入学手続要項」に従ってください。

# 2017年度アドミッションズ・オフィス(AO)入試 提出課題の内容および学科別の要件等

出願に必要な提出課題のテーマおよび要件等は下記のとおりです。

学 科	課 題
現代ビジネス学科	<p>あなたは大学生で、同じ大学の友達に数人の留学生がいると仮定する。 あなたは、その留学生達に地元の良さを知らせてもらおうと思ひ、また、留学生達も日本に来てまだ4ヶ月しか経っておらず、地元のことを深く知りたいと考えている。 そこで、あなたは、「日帰りツアー」を企画することにした。旅行スタイルは、最寄りのJR駅に集合し、日帰りで行動するものである。 なお、あなたと留学生達の所属する大学は、あなたの出身地の都道府県内にあるものとする。 上記の内容を踏まえ、その企画内容を本学のホームページからダウンロードした「ワークシート」にまとめなさい。 また、「ワークシート」を作成する際は、下記の事項に留意しなさい。 ①留学生にわかりやすく伝えるために「ツアー名」と「概要」を記載すること。 ②ツアー出発地は、あなたが現在住んでいる都道府県内にあるいずれかのJR駅とし、帰着地も同一の場所とする。 ③ツアーには昼食のみを含み、朝食と夕食は含まないものとする。 ④「移動手段」は、公共交通機関を利用するものとする。 ⑤すべての出費を合計して各自1万円以内になるようにする。 ⑥「ワークシート」のスケジュール欄は、すべて埋めなくてもよい。</p>
教育学科 幼児教育専攻 児童教育専攻 健康教育専攻	<p>次の2つの点を踏まえ自己推薦書を作成しなさい。表現の方法は自由です。ただし、立体物を貼り付けることや指定の様式の大きさを変えることはできません。 ①これまで、あなたが影響を受けた先生をあげ、その方々からどういう影響を受けたか。 ②本学科入学後に、どのような学びを深めていきたいと考えているか。(その理由を含めること)</p>
生活文化デザイン学科	<p>①家族、流通と消費、衣食住などの生活の問題 ②生活と地球環境、文化、社会との関わりについての問題 ③建築・インテリアなど生活の中のデザインに関する問題 上記の中からいずれかを選択し、あなたが関心を持つ事柄について具体的に論述し、それに対するあなた自身の考察、あるいは提案を示しなさい。(1,600字以内)</p>
日本文学科	<p>日本語・日本文学あるいは日本文化に関する本で、あなたが感銘を受けたものを1冊選び、そのすばらしさ・おもしろさを他者に紹介・推薦する文章を書きなさい。(1,200字以内)</p>
人間文化学科	<p>次にあげたテーマの中から1つを選んで、それについて具体的に調べ、考えたことを述べなさい。(1,600字以内) ①「歴史を学んで何の役に立つの？」と問われたらあなたならどのように答えますか？ また、学校で歴史を学ぶ意味は何だと思ひますか？ ②互いに異なる言語・習慣・価値観を持った人々が共に暮らす場合、どのような問題が生じると思ひますか？あなた自身の体験を交え、解決策あるいは防止策とあわせて具体的に説明しなさい。</p>

## 心理行動科学科

- 心理行動科学科は以下の(A)経験・実績と(B)意欲の両方を満たす方が出願できます。
- (A) 高校までの活動において、スポーツ、音楽、または経済・経営活動に打ち込んでいた経験あるいは一定の実績を持っている方
- (B) Aの活動を通して、人間の心理や行動について興味や疑問を持ったことで、それらを大学で心理学の観点から学びたい方
- 上記の要件を確認したうえで、次の3点について詳細に記した「自己推薦書」を作成しなさい。表現の方法は自由です。ただし、立体物を貼り付けること、指定の様式の大きさを変えることはできません。
- ① スポーツ、音楽、経済・経営活動のいずれかについての経験・実績の具体的な内容について。
- ② 本学科入学後に、①の経験・実績を踏まえて、どのように学びを深めていきたいと考えるか。
- ③ その他、アピールしたい点。
- ◆ スポーツ活動の経験・実績に基づくイメージ
- 高校では運動部に所属し、レギュラーとして活躍した。集団の協調に興味がある。
  - 運動部に所属していたが、技術的な欠点が多く、試合に出場する機会が少なかった。同じ練習をしていても習得する技術に差が生じるのはなぜか、心理的な側面から調べてみたい。
  - 大学では新しいスポーツを行いたい。高校で行った競技を続ける人と辞めた人の違いをいろいろな視点で比較してみたい。
  - 高校の運動部でマネジャーとして、選手の活動を支えてきた。マネジャーの役割について、心理的な側面から調べてみたい。
- ◆ 音楽活動の経験・実績に基づくイメージ
- コンピュータの音楽に興味があり、仲間と作品を作っている。面白いリズムとつまらないリズムの違いに興味がある。
  - 友達とダンスを踊っているが、息が合うということと音楽の関係について面白いと感じている。
  - 中学のころからバンドでボーカルを担当している。ノリのよさとはどのような心理なのかを知りたい。
  - 中学高校と吹奏楽をやっているが、コンクールなどのステージであがってしまう経験をした。あがらないようにするにはどうすればよいのか調べてみたい。
- ◆ 経済・経営活動の経験・実績に基づくイメージ
- 親戚がやっているお店のホームページを作ったが、効果があるのかどうか分からない。どうしたら効果の有無がわかり、どうしたら効果を上げられるのか勉強したい。
  - 友人たちとフリーマーケットに出店してきた。何度も出店するうちに、売り上げのコツがわかってきた気がするが、それを心理学的に研究して検証してみたい。
  - 高校の文化祭で実行委員を務めたが、来場者数や模擬店の売り上げと天候に関係があるように感じた。このような現象を統計的に分析する手法を学びたい。
  - 通学路のハザードマップ作成に参加し、危険性に気づく難しさや、それらを周知する際に必要な工夫の必要性を感じた。専門的に学ぶことで地域に貢献したい。

※各学科とも提出課題は本学のホームページからダウンロードした所定様式を用い、注意事項をよく読んで作成してください。

※資料として用いた本や雑誌・新聞、ウェブサイト等がある場合は必ず出典を出典記入欄に明記してください。

# 2017年度アドミッションズ・オフィス(AO)入試 音楽科専門試験要項

## 一次選考

専攻 実技	器楽コース	ピアノ専攻	以下より1曲を選択し、演奏すること。 ●J. Haydn, W. A. Mozart, L. v. Beethovenの任意のピアノ・ソナタより第1楽章または終楽章 ●ロマン派以降の自由曲 暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。	
		オルガン専攻	(A) (B)いずれかを選択し、受験すること。 (A)パイプオルガンで受験する場合 自由曲:1曲 暗譜の必要はない。また、手鍵盤のみの作品でもよい。 (B)ピアノで受験する場合 J. S. Bach《平均律クラヴィーア曲集》第1巻、第2巻より1曲を選択し、プレリュード、フーガの両方を暗譜で演奏すること。	
		弦楽器専攻	ヴァイオリン・ ヴィオラ チェロ コントラバス	自由曲:1曲 暗譜のうえ、無伴奏で演奏すること。
		管楽器専攻	フルート オーボエ クラリネット ファゴット ホルン	自由曲:1曲 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。
	声乐コース	自由曲:1曲 暗譜のうえ、原語で歌うこと。		
	作曲コース	提出課題として、出願時に楽譜に書かれた自作の曲を提出する。演奏時間は1分以上とし、編成は自由とする。五線紙は市販のものを使用すること。提出する楽譜は、鮮明なコピーを製本して提出し、原本は控えとして必ず保管しておくこと。一次選考では、提出された曲についての口頭試問を行う。		
副科 ピアノ	器楽コース 声乐コース	以下の作曲家によるソナチネ、またはソナタの中から1曲を選択し、第1楽章を演奏すること。 L. v. Beethoven, M. Clementi, A. Diabelli, J. L. Dussek, J. Haydn, F. Kuhlau, W. A. Mozart 暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。		
	作曲コース	以下より1曲を選択し、演奏すること。 ●J. S. Bach《2声のインヴェンション》 ●J. S. Bach《シンフォニア(3声のインヴェンション)》 ●J. S. Bach《平均律クラヴィーア曲集》第1巻、第2巻よりフーガのみ ●J. Haydn, W. A. Mozart, L. v. Beethovenのピアノ・ソナタより任意の楽章 暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。		

- ピアノ専攻・オルガン専攻を志望する場合は「専攻実技」を、それ以外の専攻を志望する場合は「専攻実技」と「副科ピアノ」の両方を受験すること。
- 出願時に曲目届出票と演奏する曲全体のコピーを添付すること。印刷が明瞭であれば、コピーのサイズ等は自由でよい(製本の必要はない)。
- 声乐コースを志望する場合は、曲全体のコピーのほかに、伴奏用楽譜を添付すること。1ページのサイズをA4版とし、製本すること。氏名は記入しないこと。
- オルガン専攻をパイプオルガンで受験する場合、本学のオルガンで練習することができる。
- 弦楽器専攻(ヴァイオリン・ヴィオラ)の「ヴィオラ」を受験する場合、ヴァイオリンでの受験も可とする。
- 弦楽器専攻、管楽器専攻を受験する場合、楽器を持参すること。
- 弦楽器専攻(コントラバス)を受験する場合、本学のコントラバスを使用できる。希望する場合は、曲目届出票の該当欄に○印をつけること。

## 二次選考

専攻実技	器楽コース 声乐コース	一次選考の「専攻実技」試験に関して、面接時の指摘をふまえて修正し、再度同じ課題曲を演奏すること。
	作曲コース	一次選考の口頭試問において指摘された点を修正した自作の曲の楽譜を、二次選考出願書類に同封して提出すること。提出する楽譜は、鮮明なコピーを製本して提出し、原本は控えとして必ず保管しておくこと。
副科ピアノ	器楽コース 声乐コース 作曲コース	一次選考の「副科ピアノ」試験に関して、面接時の指摘をふまえて修正し、再度同じ課題曲を演奏すること。

- ピアノ専攻・オルガン専攻を志望する場合は「専攻実技」を、それ以外の専攻を志望する場合は「専攻実技」と「副科ピアノ」の両方を受験すること。
- オルガン専攻をパイプオルガンで受験する場合、本学のオルガンで練習することができる。
- 弦楽器専攻、管楽器専攻を受験する場合、楽器を持参すること。

# 2017年度アドミッションズ・オフィス(AO)入試 学科別ポイント

<p>現代ビジネス学科</p>	<p>一次選考では、提出課題(「ワークシート」)に基づいて、質疑応答を中心とした面接を行います。</p> <p>二次選考では、プレゼンテーションを行います。ここでのプレゼンテーションは、一次選考の面接の際に指摘された事項を踏まえ、10分程度で行ってください。事前に提出された「ワークシート」と「プレゼンテーション」をもとに、質疑応答を行います。</p> <p>いずれもあなたの熱意が伝わるような対応を心がけてください。</p>
<p>教育学科</p>	<p>教育学部教育学科各専攻の一次選考では、p8で指定した2つの点を記した自己推薦書を基に、その内容およびプレゼンテーション能力を評価します。二次選考では、教育に関連するテーマについての小論文試験と面接を行います。教育に関する情報に触れておくとよいでしょう。面接では、志望する理由を確認するとともに人に関わる仕事を指す者に求められるさまざまな能力や資質を確認します。</p>
<p>生活文化 デザイン学科</p>	<p>生活文化デザイン学科の一次選考では、生活に関する様々な事柄やデザインに対する基本的関心と問題意識を確認し、広い視野を持って考察する姿勢、または具体的な提案を形にする取り組みを評価します。二次選考では、講義の内容を整理しながら筆記する力や、テーマを理解し自身の考察を加え、適切な文章で表現するなどの大学での学習に取り組むための基本的な力を確認します。日頃から生活やデザインへの関心を深め、高校の授業を通じて、ノートをまとめる力、考察と論述の力を伸ばすよう意識するとよいでしょう。</p>
<p>日本文学科</p>	<p>日本文学科では、古典文学を含めた文学作品全般に関する学習意欲や、コミュニケーション能力を評価します。二次選考の面接では、文学作品の音読も課しますので、教科書以外にも、日頃から近代文学や古典文学に触れておきましょう。</p>
<p>英文学科</p>	<p>英文学科では、英語力をつけるために努力したことや、英語に関する経験、意欲が評価のポイントとなります。面接では、英会話のやり取りができるよう、英語によるコミュニケーションの訓練に力を入れてください。また、高校の教科書レベルの英文の音読を日頃から練習しておきましょう。二次選考では英文読解を含む論述試験を行います。英文を読み、自分の意見を英語で書く練習をすると良いでしょう。</p>
<p>人間文化学科</p>	<p>人間文化学科は、歴史学や哲学などの学問分野、あるいは国際協力や国際関係論などの分野に関する学習意欲を評価します。日頃から新聞やニュースに触れておくことが大切です。一次選考では提出課題に関する質疑応答を含めた内容の面接を行い、それを踏まえ、二次選考では一次選考の提出課題についてのプレゼンテーションを行うので、取り組んだ課題については広く情報を集めておきましょう。</p>
<p>心理行動科学科</p>	<p>心理行動科学科は、当学科が指定する実績の詳細と、それを踏まえて入学後にどのようなことを学びたいかを記した自己推薦書の作成を課題とし、その内容およびプレゼンテーション能力を評価します。p9に記載されている事項を十分に確認して課題を作成し、プレゼンテーションに臨んでください。</p>
<p>音楽科</p>	<p>音楽科の一次選考では、実技試験(「専攻実技」「副科ピアノ」)で基礎的な能力を確認します。作曲コースについては、実技試験(「副科ピアノ」)のほか、事前に提出した課題についての口頭試問を行います。</p> <p>二次選考では、一次選考と同じ課題で実技試験を行い、課題への取り組み方を評価します。作曲コースについては、一次選考で指摘された内容をふまえて修正・提出された課題を評価します(口頭試問は行いません)。音楽における基礎的な能力を養うことはもちろん、日頃から意欲的に音楽と向き合うことを心がけましょう。</p>

## 出願書類について

一次選考のための出願書類(本学所定様式)は全て本学ホームページ(<http://www.mgu.ac.jp/main/entrance/ao/index.html>)からダウンロードできます。

ダウンロードができない場合は、本学入試センターまでご連絡ください。

### 【ダウンロードできる出願書類】

- 志願理由書(全学科共通)
- 提出課題様式(英文学科、音楽科を除く)
- 音楽科専門試験曲目届出票

## AO入試合格者に対する入学前学習課題について

本学では、AO入試合格者に対して、大学入学後の学習にスムーズに適応していただけるよう、入学前の準備教育として学習課題を課します。11月中旬に送付しますので、指定の提出期日までに取り組んでください。

## 「早期合格者の集い」開催について

本学では、AO入試合格者および推薦入試合格者を対象に、「早期合格者の集い」を開催します。日程等の詳細は合格発表後に別途通知しますので、ぜひご参加ください。

## 「推薦入試」「一般入試(A日程)」再受験について

「AO入試(二次選考)」で不合格となった方で、「推薦入試」、「一般入試(A日程前期)」、「一般入試(A日程後期)」で同一学科を再受験する場合に限り、1学科分の入学検定料(30,000円)を免除します。この場合、「AO入試(二次選考)」の受験票が必要となりますので、受験票は紛失しないよう保管してください。

## その他

出願資格を取得見込みで受験した方が、その資格を満たせなかった場合は、合格を取り消します。

## 納付金

2017年度納付金に関しては「入学手続要項」に掲載いたします。

なお、2016年度の納付金は下記のとおりです。参考としてご覧ください。

### 【参考】2016年度納付金明細表

(単位:円)

科 目	現代ビジネス学部	教育学部	生活科学部		学芸学部					
	現代ビジネス学科	教育学科	食品栄養学科	生活文化 デザイン学科	日本文学科	英文学科	人間文化学科	心理行動科学科	音楽科	
入学時納付金	入学金	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	330,000
	授業料	378,500	404,000	446,000	426,500	356,500	356,500	356,500	378,500	502,000
	演奏実技運営費									159,000
	実習料	30,000	6,000	6,000	12,000	10,000	12,000	12,000	30,000	7,500
	楽器使用料									17,500
	施設設備資金	95,000	95,000	103,000	102,000	91,500	91,500	91,500	95,000	126,500
	グループ研修費	10,000	10,000	2,200	1,500	1,500	3,500	10,000	10,000	1,300
	循環器等検査料	3,300	10,000	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
	大学後援会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	学友会費	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	学会費	3,500	1,500	1,200	1,500	4,000	2,500	2,000	3,500	1,300
学生災害掛金	3,300	3,300	3,370	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	
計	772,100	778,300	813,570	798,600	718,600	721,100	727,100	772,100	1,160,200	
後期納付金	授業料	378,500	404,000	446,000	426,500	356,500	356,500	356,500	378,500	502,000
	演奏実技運営費									159,000
	実習料		6,000	6,000			12,000			7,500
	楽器使用料									17,500
	施設設備資金	95,000	95,000	103,000	102,000	91,500	91,500	91,500	95,000	126,500
	大学後援会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	計	478,500	510,000	560,000	533,500	453,000	465,000	453,000	478,500	817,500
年額合計(一般)	1,250,600	1,288,300	1,373,570	1,332,100	1,171,600	1,186,100	1,180,100	1,250,600	1,977,700	

## 受験時特別配慮について

本学に入学を志願する方で、身体に障がいや疾病等があり、受験上の特別な配慮を必要とする場合は、出願前に必ず本学入試センターにご相談の上、下記の通り申請してください。

ただし、希望の特別措置のすべてに対応できるとは限りません。

申請期限	AO入試一次選考出願開始日の1ヶ月前まで
申請方法	下記の書類を本学入試センターまでお送りください。 ・特別配慮願（本学所定/ホームページからダウンロードできます） ・障がい・疾病の状況がわかるものの写し（医師の診断書など） ・高等学校の所見（高等学校在籍者のみ）
問い合わせ先	宮城学院女子大学 教育研究支援グループ 入試センター(022-279-5837)

なお、出願締め切り後、不慮の事故等のために受験上の特別な配慮が生じた場合は、あらかじめ本学入試センターに連絡の上、速やかに申請書類を提出してください。

申請にあたって本学のキャンパス見学を希望する場合も、あらかじめご相談ください。

### 注意

- この申請内容は、受験上における特別配慮措置のために確認するものであり、試験の合否結果については一切関係しません。
- 修学上の配慮については、合格発表後にあらためてご相談ください。

## 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがあります。該当する症状がある場合は、必ず本学入試センターまでご連絡ください。

### 受験生ならびに保護者の皆様へ（個人情報保護について）

入学志願票および出願書類に記載された個人情報は、入学試験や入学後の学籍管理等教育運営に使用します。なお、個人情報を使用する際は取り扱いに十分注意し、目的以外には一切使用いたしません。

#### 願書送付・問い合わせ先

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘九丁目1番1号

宮城学院女子大学

教育研究支援グループ入試センター

<http://www.mgu.ac.jp/>  
E-mail:nyushi@mgu.ac.jp  
TEL.022(279)5837  
FAX.022(279)5978

2016年6月